

令和元年12月11日

## 令和元年度第2回京都市明るい選挙推進協議会総会（摘録）

1 日 時 令和元年12月11日（水）午後2時から午後3時30分

2 場 所 職員会館かもがわ1階 第1会議室

### 3 出席者

(1) 委員（◎は会長，○は副会長 敬称略）

京都大学名誉教授	◎木下 富雄
立命館大学名誉教授	○村山 皓
日本放送協会京都放送局放送部長	小林 啓祐
京都市選挙管理委員会委員長	小林 昭朗
市民公募委員	村瀬 優希

(2) 事務局

京都市選挙管理委員会事務局長	小田 久人
〃 次長	大西 利加子
〃 選挙課担当課長	柴田 洋志
〃 選挙課啓発係長	丸山 智也
〃 選挙課書記	松村 朋香

### 4 摘録

(1) 挨拶

(2) 協議

○京都市長選挙における選挙時啓発計画について

事務局：「京都市長選挙における選挙時啓発計画（案）」資料に基づき説明。

委員：テレビ広告について，KBS京都は京都市民が視聴するテレビ局として理解できるが，関西テレビを選択した理由は。

事務局：今回の京都市長選挙の啓発事業の内容については，プロポーザルを実施し決定している。テレビ広告に関しても，今回採択した業者の提案に含まれていたもので，提案されたテレビ局がKBS京都と関西テレビであった。おそらく，こちらが提示した予算の範囲内で，業者がテレビ局を選定したものだと考える。テレビ局の選定における公平性という面から，いただいたご意見を十分に踏まえ，次回選挙以降，検討していきたい。

委員：YouTube広告において流れる広告は何秒か。

事務局：6秒である。

委員：成人式の会場で配布する号外新聞はどのようなものか。例えば，20年前の出来事が掲載された記事等であれば，興味を持ってもらいやすいのではないか。

- 事務局 : 本取組は、京都新聞社が出す号外に、京都市長選挙の広告を掲載していただくかたちで実施するものである。記事の内容については、過去20年の出来事の振り返りや、二十歳の誓いを述べられる方へインタビュー等を検討していると聞いている。
- 委員 : ごみ収集車での横幕掲出と啓発放送はとても良い取組だと思うが、今回は初めての取組か。
- 事務局 : 市長選挙に限る取組であるが、過去から行っている。
- 委員 : 割箸での啓発とはどのようなものか。
- 事務局 : 京都市長選挙の期日等を箸袋にデザインした割箸を、京都市内の各大学の食堂等で配布する予定である。
- 委員 : 啓発にかかる全体の費用はいくらか。
- 事務局 : プロポーザルについては2400万円を予算として実施した。ただ、この資料に記載している啓発のすべてを業者に委託しているわけではないため、全体の啓発費用としてはもう少し大きくなる予定である。
- 委員 : 出前授業については、応募のあった学校へ出向き実施しているのか。
- 事務局 : 応募のあった学校のほか、教育委員会が取りまとめた希望校に出向いている。
- 委員 : 出前授業の実績は。
- 事務局 : 平成30年度においては、27校3,872名だった。
- 委員 : 出前授業は常時的に行っているのか。
- 事務局 : そうである。選挙前に行う授業については、その選挙についても触れながら授業を行っている。

(4) 小林委員長（京都市選挙管理委員会委員長）挨拶

(15:30終了)